資料４

元気高齢者施策の実施主体としての（財）長野県長寿社会開発センターの役割

高齢者会議所構想（昭和６２年）
（長野県活力ある高齢化社会を目指す懇談会）

明るい長寿社会づくり推進機構設立構想
（高齢社会対策基本法、ゴールドプラン）

賛助会（１０地区）
みずから会費を納めてセンターを支え、同時に地域のリーダーとして活動する全国唯一の組織

（財）長野県長寿社会開発センター
平成元年５月設立、基本財産３３３，９３７千円
支部は１０地方事務所福祉課内
個人賛助会員 ６，２４０人（３５０活動グループ）
法人賛助会員 ８９団体

・二〇三〇年には三人に一人が高齢者
・団塊の世代の定年退職
・二〇〇七年問題
・家族や地域社会の崩壊
・社会の不安定化

健康長寿県ながのを維持、発展

気運づくり
・情報誌F80（ふわり信州）の発行
・ホームページの運営
・功労者表彰、作品展受賞者表彰
・アンケートなど調査・研究
・信州ねんりんピックの開催

人づくり
・老人大学（３５，４００人卒業） H18～県
・シニアリーダー実践講座（５，４００人）
・グループリーダー研修会ほか
・信州ねんりんピックの開催（再掲）
・全国健康福祉祭への選手派遣

仲間づくり
・賛助会グループ設立支援
・賛助会グループ等社会参加活動支援
・中高年者社会貢献活動支援
・広く高齢者を対象とした支部活動支援
・地区賛助会運営支援

活動の場づくり
・活動事例調査、活用
・地域活動参加セミナー等見合いの場
・支部運営委員会
・グループリーダー研修会ほか（再掲）
・コーディネーターの養成

関係活動団体との連携と協働

高齢者の生きがい・健康づくり、社会参加の支援

・県民のＱＯＬの増進
・社会の絆の再構築
・豊かで活力ある社会の実現
・医療費や介護費用の削減